

草原しんぶん

第5号 / 平成20年2月発行
環境省九州地方環境事務所 阿蘇自然環境事務所
阿蘇草原再生ホームページ <http://www.aso-sougen.com>

「草原しんぶん」は、阿蘇の草原のことをみなさんに知ってもらうために発行しています。阿蘇の草原ではどんなことが行われているのか、どんな問題が起きているのか、考えてみましょう。そして、学校やお家の方と話し合ってみましょう。



<カルデラの風景>

カルデラ



「高いところから見ると、阿蘇は、おもしろい形をしているね。カルデラっていうらしいけど、どういう意味なの？」



「直径が2 km以上ある、火山のはたらきでできたくぼ地のことをカルデラというんだ。もともとは、ポルトガル語で『大なべ』という意味なんだよ。阿蘇のカルデラは直径20 km以上もあり、こんなに大きなカルデラは、世界でもめずらしいものなんだよ。」

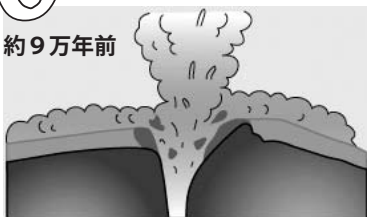


「へえ。なんだかじまんだね。こういう地形はいつごろできたものなの？」



「阿蘇の火山活動は、だいたい27万年前ごろに始まったといわれているよ。」

約9万年前



富士山一つ分もの量の溶岩や火山灰を噴き出す大噴火がおこった。



噴火で大きなくぼ地ができた。くぼ地に雨水がたまって湖ができ、くぼ地の中心にあたる噴火でいくつもの山々ができた。



数千年前



外輪山の割れ目から湖の水は外に流れ落ち、ほぼ今の姿となった。



下の図を見てごらん。今のカルデラのもとは、9万年前のふん火によってできたと考えられているんだ。」



「9万年前!? びっくりだなあ!」



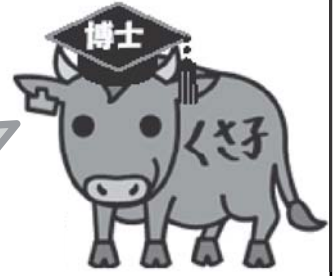
「そのあと、地面が沈んだり、しゃ面がくずれたりして、カルデラは少しずつ広がっていったんだ。カルデラのまん中には、新しいふん火で中央火口丘群ができた。中岳では今でもふん火が続いているね。長いあいだにいろいろ変化があって、数千年前ごろに、今のよう形になったといわれているんだ。」



「阿蘇は、すごい歴史を持っているんだね。」

? 草原クイズ

みんながカルデラのことを話しているけど、
まちが
間違っているのはどれだ？



1

「カルデラ」は、ポルトガル語で「大なべ」の意味だよ。



2

カルデラの周辺には100年前から草原が広がっているんじゃ。



3

カルデラって火山の活動で出来上がったのよね。



答え 間違っているのは () だ！

★こたえはこのページのいちばん下にあるよ！

「阿蘇の草原の絵」を募集しています。

かんきょうしょう 環境省では「阿蘇の草原の絵」を募集しています。

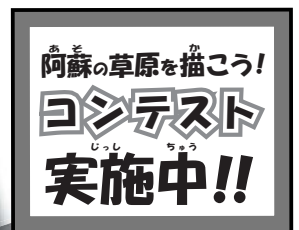
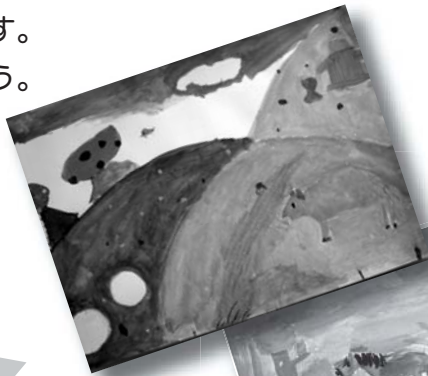
作品を送ってくれたみんな、どうもありがとう。

すてき 素敵な作品がどんどん集まっているよ。

おうぼ 応募の締め切りは2月22日(金)!

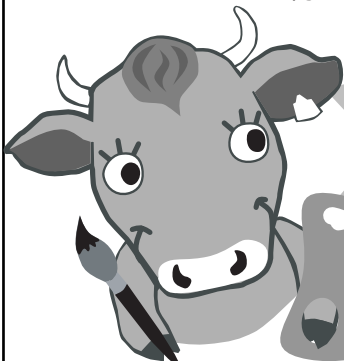
まだ間に合うから送ってね。

きみのチャレンジ待ってるモー!



絵のテーマは、草原の風景、草原の動物や植物、草原で働いている人々など、阿蘇の草原に関係することなら何でもOKだよ。詳しくは、応募用紙を見てね。

尾ヶ石東部小学校から、素敵な作品が届きました!



おうぼ 応募作品は、南阿蘇ビジターセンターで展示するモー。入賞者にはすてきなプレゼントもあるモー。

■展示場所：南阿蘇ビジターセンター
住所：熊本県阿蘇郡高森町大字高森3219 TEL:0967-62-0911

草原再生キッズホームページでコンテストの情報をゲットしよう!
<http://www.aso-sougen.com/kids/index.html>

平安時代の書物に阿蘇の草原で放牧が行われていたことが書かれています。

草原クイズのこたえ：②1000年前には草原が広がっていたんだモー。